日本発グローバル企業として、タケダは日本の創薬エコシステムを牽引する

研究開発・製造基盤を通じて、日本の創薬力を高め、患者アクセスと関連産業の成長に貢献

国内投資　日本での治験薬開発・製造拠点強化

世界市場へのバイオ医薬品供給
外貨獲得

関連産業への波及・成長
国内CDMO[1]の技術力強化・生産能力向上

Takeda Global Research & CMC[2] Hub

湘南

高難度バイオ医薬品の
プロセス開発・治験薬製造を日本で実現
（投資内容：製造設備、高度人財採用・育成）



国内投資　国際競争力の高い治験環境の整備

世界の臨床治験を日本へ呼び込む

医療機関への波及・成長
医療機関の世界水準の治験実施能力の強化

Takeda Development Center

大阪

東北大学・名古屋大学等と
治験ネットワーク基盤構築
（投資内容：治験呼び込み、企業人財投入）

これから必要な官民投資

官 武 治験受入体制の整備
- 医療機関の治験実施基盤への支援強化
  （資金、人材、データ管理の整備など）
- 治験実施機関のネットワーク構築

官 武「国内製造&人財育成」両輪の強化
- バイオ・免疫グロブリン等の国内製造基盤への中長期的投資
- 製造・治験を担う人財の戦略的育成システム

官 魅力ある市場形成
- 薬価における適切なイノベーション評価
- 米国MFN政策への対応

1　1：製薬企業から医薬品の開発・製造を受託し、製造プロセスの開発から商用生産までを担う企業
2：研究で生まれた新薬候補を、安定した品質で製造できる医薬品へと仕上げる、研究と製造の橋渡し機能

グローバルなバイオ医薬品企業

グローバル本社
東京 日本橋

20以上 製造拠点

2 研究拠点

グローバル拠点
約80の国・地域

グローバルハブ
米国 マサチューセッツ州 ケンブリッジ

130以上
革新的な医薬品を創出し患者さんに届けるためのパートナーシップ

約20
臨床段階にある新規候補物質



別途記載がない限り、数値はすべて2026年4月時点の数値です。

＊2025年度（2026年3月期）業績。

【Appendix】日本に投資し、イノベーションを日本から世界へ届ける

タケダは、研究から製造まで、日本に戦略的投資を行っている

売上(FY25)	研究開発費(FY25)	国内R&D,設備投資額(FY21-25)
4.5兆円	**6,759億円**	**5,500億円超**

5 製造

医療安全保障 ： 千葉・成田

血漿分画製剤工場

血漿分画製剤の供給力・強靭性を高め、国内自給に貢献



製造基盤の強化 ： 大阪・十三

スマートファクトリー

AI・ロボット・先端デジタル技術を活用した次世代の医薬品製造拠点



医療安全保障 ： 山口・光

ワクチン製造施設

パンデミック時にワクチンを迅速に供給できる日本の体制を強化



6 市場

魅力ある市場形成には政府支援、国家戦略が必要



4 臨床試験

臨床試験ネットワーク基盤の構築

東北大学（プロジェクト蒼天）、名古屋大学

治験ネットワーク・医療データ基盤と次世代の臨床開発モデルを構築

1 創薬研究

エコシステムの発展 ： 神奈川・湘南

湘南アイパーク（iPark）

創薬研究を含め、日本のイノベーションを牽引する、オープンイノベーション拠点



2 シーズ育成

エコシステムの発展 ： 神奈川・湘南

Ciconia Bioventures Inc

日本のバイオベンチャーと次世代の医療イノベーションの成長を支援



3 非臨床研究

研究開発基盤の強化 ： 神奈川・湘南

CMC：バイオ医薬品の製造・研究施設

バイオ医薬品の製造設計と治験薬の製造を国内で実施



【Appendix】発言内容

タケダは日本発のグローバルファーマとして、世界の人財・技術・研究開発を日本へ導く灯台を目指します。
創薬エコシステム強化への貢献は、私たちの責任です。

政府と連携して治験・バイオCMC製造のプラットフォームを築き、日本での治験と先行上市を促進し、先進的な医薬品を、日本の患者さんに届けます。

その実現には、医療機関への投資、国内製造支援、MFN政策を踏まえた薬価における適切なイノベーション評価など、政府にしかできない取り組みが欠かせません。一つだけでは、日本の成長エンジンになりません。

タケダは、関係者との連携・投資を通じて、革新的な医薬品へのアクセス向上と経済成長に貢献します。
高市総理と政府の皆さまと、今後も対話を続けてまいります。